



ポプラ社



絵本およびデジタル絵本共同視聴時における 保護者と子どもの相互作用

- オンライン実験による検討 -

佐藤賢輔（発達保育実践政策学センター特任助教）

kensuke@p.u-tokyo.ac.jp

実験研究について

現在実施中の実験のため、詳細な内容や中間結果の報告はできません。本日は概要のみ紹介させていただきます。

■ 特徴

- Zoomを使ったビデオ会議上で実験を実施する**オンライン実験**
- 対象は4歳～の未就学児と保護者
- 絵本またはデジタル絵本を共同で読んでいる場面の相互作用を中心に検討

■ 現在、参加者募集中です！



「絵本についてのオンライン調査」
参加者を募集しています



日本全国どこからでも
ご自宅から研究に参加できます！

- 4歳0ヶ月以上の未就学児のお子様とその保護者の方が対象です。
- ご自宅のノートパソコンから「Zoom」を使って調査にご参加いただけます。
- 調査では、お子様と一緒に絵本を読んでもいただく、質問に答えていただくたりします（所要時間50分程度）。
- 保護者の方には事前にwebアンケートにもご回答いただけます。
- 調査の様子は録画いたします。



この調査は発達保育実践政策学センターと株式会社ポプラ社の共同研究として実施されています。

【問い合わせ先】

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

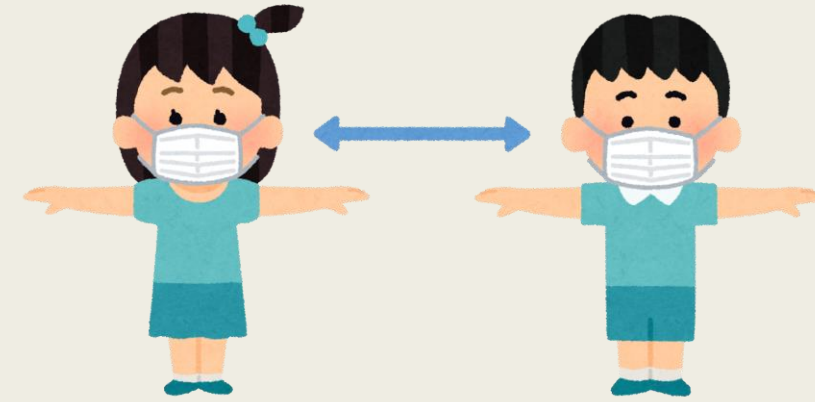
特任助教（絵本・本プロジェクト担当）
佐藤賢輔

メール: cedepop@p.u-tokyo.ac.jp

「絵本についてのオンライン調査」に参加を希望される方は、
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/growth/kidsresearcher/>（または右のQRコード）
から「東大Cedepこども研究員」にご応募ください。応募フォームの「参加を希望される調査」欄に「絵本についてのオンライン調査」とご記入ください。



COVID-19と子どもの心理学



■ COVID-19と心理学

- 心理学は、直接会ってインタビューする、観察する、実験室で実験に参加してもらうといった研究手法に頼ってきた
- が、現在、対面を必要とする研究は実施困難...

⇒ 対面せずにデータを収集するオンライン研究に活路を開く

■ ただし、子どもを対象とした研究のオンライン化は一筋縄では行かない

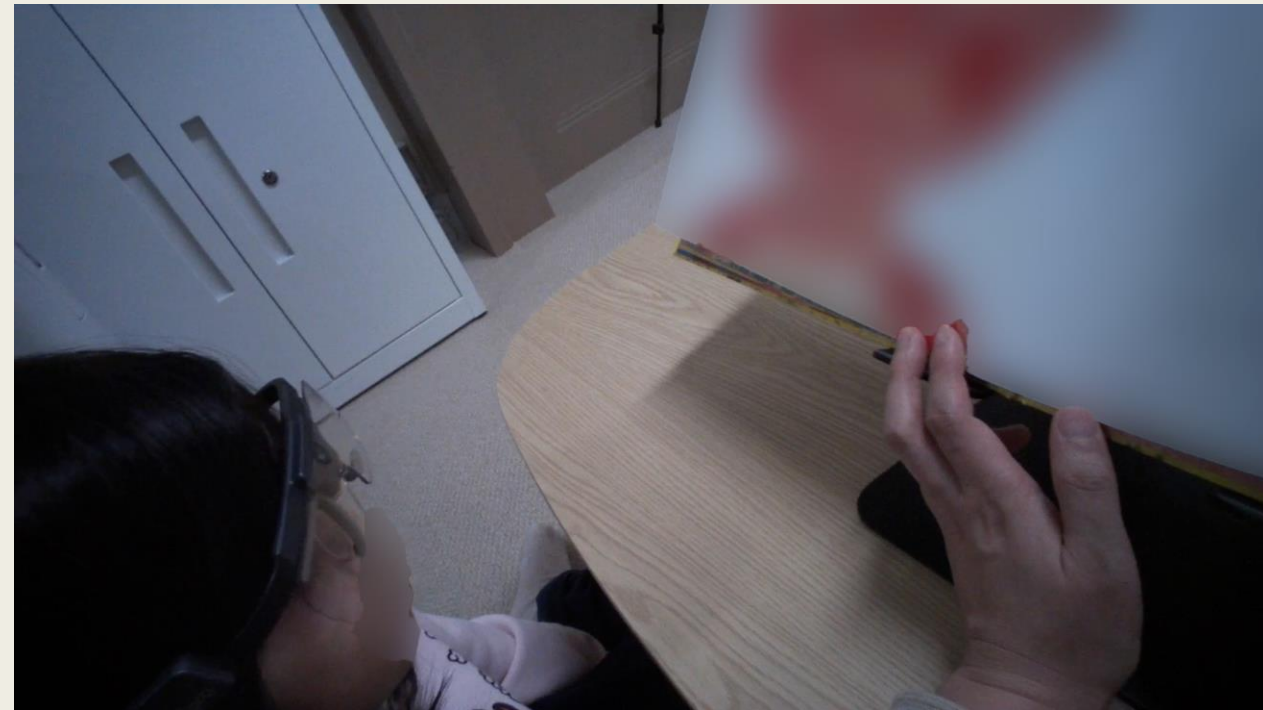
- 子どもは、パソコン等の操作、文字を読むこと、言葉で説明することなど、まだうまくできないことがたくさん...

実験の目的と当初の計画

- 「紙の絵本」と「デジタル絵本」
 - 絵本の読み聞かせ（共同視聴）場面に注目
 - 子どもと保護者の行動や相互作用、絵本の内容に関する理解が、紙の絵本とデジタル絵本でどのように異なるのか（または、異なるのか）を調べる

子どもと保護者の行動、相互作用

- 視線計測を含む多面的なデータを収集
- 加えて、子どもの言語発達、家庭の読書環境等について多面的データを収集



実験のオンライン化

- 当初の目的を達成するため、**オンライン実験**へ移行
実験者と参加者は、対面する代わりに、ビデオ会議で会話しながら実験を進める



- 自宅のノートパソコンの前で、一緒に絵本を読んでもらったり、画面越しで質問・回答を行ったりする
- その間の保護者と子どもの行動、相互作用を、Zoomの録画機能を用いて記録する

かんたんにできそうだけど...

⇒ オンライン化には様々な工夫が必要

オンライン化のハードル

1. スムーズなやり取り
2. 子どものモチベーション維持
3. データの収集と分析

【その他にも...】

各家庭による実験環境の差、実験に使用する素材の使用許諾、機器
トラブル対応など

1. スムーズなやり取り

① こおり

② こう



③ こうり

④ こり

きょうはどのくらいおもしろかった？



すこし



ちゅうくらい



すごく

目次

- ハードウェアの推奨事項 (p.2)
- Zoomガイド (p.3-4)
- (Windows用) Zoomダウンロード (p.5-9)
- (Mac用) Zoomダウンロード (p.10-13)
- Zoomのミーティングルームに入る (p.14-16)
- 調査当日までの準備 (p.17-19)
- お子さまへのご説明 (p.20)

『保護者ガイド』目次

2. 子どものモチベーション維持

もうすぐ
はじまるよ

3

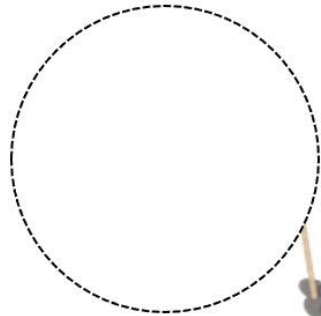
2

1

楽しみだね！



ひこうき



3. データの収集と分析

収集中のデータ

- 行動データ：Zoomを通じてレコーディング
 - 絵本共同視聴時の行動と相互作用、質問への回答
- 保護者アンケート
 - 事前のWebアンケートを通じて、家庭の読書環境等を調査

分析の方針

- メディア（紙／デジタル）による行動の違い、年齢や読書環境、言語発達の個人差との関連
- 視線行動や表情の特徴については、より詳細に分析する予定（e.g. 機械学習を利用した分類、測定）



子どもを対象とした実験研究と場所

実験室

- いつも同じ環境でデータ収集できる
- 様々な設備を利用できる
- 参加者が緊張しやすい

オンライン（自宅）

- 特に慣れた環境で実験に参加できる
- 遠隔地から参加できる
- 干渉が生じやすい
- 設備に厳しい制約がある

園

- 慣れた環境で実験に参加できる
- 一対一で実験ができる
- 時間や設備に制約がある



実験研究の進捗と見通し

- 今日紹介したオンライン実験
 - 今年度内に完結、来年度前半に結果の公表を予定
 - 紙の絵本とデジタル絵本の比較を通じて、子どもの発達における、それぞれのメディアの固有の価値について示唆を得る
- 今後の実験研究の展開：オンライン実験を継続
 - 絵本とアニメーション視聴場面の比較？
 - 絵本・本とデジタルメディアに対する子どもの認識の比較？

子どもにとっての絵本・本の価値、機能、その固有性について、デジタルメディアとの比較から検討していく

さいごに

- 本実験研究は下記の皆さんとの共同研究です。
 - 浜名真以（洗足こども短期大学／東京大学）
 - 廣戸健悟（東京大学大学院博士課程）
- 現在、研究にご参加いただける方を募集しています。詳しくはCedepウェブサイトのお知らせページをご覧ください！

<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/event/20448/>

ありがとうございました！



「絵本についてのオンライン調査」
参加者を募集しています



日本全国どこからでも
ご自宅から研究に参加できます！

- 4歳0ヶ月以上の未就学児のお子様とその保護者の方が対象です。
- ご自宅のノートパソコンから「Zoom」を使って調査にご参加いただけます。
- 調査では、お子様と一緒に絵本を読んでもいただく、質問に答えていただきます（所要時間50分程度）。
- 保護者の方には事前にwebアンケートにもご回答いただきます。
- 調査の様子は録画いたします。



この調査は発達保育実践政策学センターと株式会社ポプラ社の共同研究として実施されています。

【問い合わせ先】

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター

特任助教（絵本・本プロジェクト担当）
佐藤賢輔

メール: cedepop@p.u-tokyo.ac.jp

「絵本についてのオンライン調査」に参加を希望される方は、
<http://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/growth/kidsresearcher/>（または右のQRコード）
から「東大Cedepこども研究員」にご応募ください。応募フォームの「参加を希望される調査」欄に「絵本についてのオンライン調査」とご記入ください。

